

私たち鈴木直道を 応援します！



全道各地の後援会を訪問し、地域の支援者との交流を楽しみにしている鈴木知事。各地で新しい後援会も立ち上げていただくなど、ご支援への感謝の思いを胸に、皆さまのご地元にお伺いさせていただきます。

鈴木知事が白老を訪問された際には、道内随一のブランド牛である白老牛を味わいながら、地域の課題や将来像についてじっくり語り合えました。一次産業をはじめアイヌ文化の拠点「ウポポイ」など世界に誇れる白老。これから知事の若さと発信力に期待しています！



白老後援会
熊谷 威二会長

地域経済の活性化をはじめ北海道全体、そして日本の課題にも挑戦を続けている鈴木知事。ここ宗谷は離島を除く日本の最北端に位置し、国境を抱える地域ですが、知事の行動力で政策課題、さらには魅力のアピールにもより一層取り組んでいただきたいと思います！



宗谷後援会
中田 伸也会長

日本海オロロンラインの自然が育むバラエティ豊かな農業・漁業・酪農の一次産業、さらにはアウトドア資源を活かしたアドベンチャートラベル等、地域が持つポテンシャルを最大限活用した留萌管内1市6町1村の力は、北海道の力。これを合言葉に鈴木知事を万全な体制で支えていきます！



留萌管内後援会
水戸 繁男会長

皆さまからのご寄付に感謝

後援会やネットで応援してくださる皆さまから寄せられるご寄付。寄付金は、鈴木直道の政治活動に使わせていただいております。

全道179市町村の支援者のもとを訪れるためのレンタカー代などの交通費、日々の活動を発信する公式サイトやSNSの運営費、お届けしております「鈴木直道レポート」の発行など、日々の活動が継続できるのも皆さまからの温かいご支援のおかげです。改めて感謝申し上げますとともに、今後とも大切にに使わせていただきます。



平素より当会の活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

鈴木知事は、全道179市町村を徹底的に歩き回り、現地で見聞きした政策課題を着実に解決へとつなげています。北海道の発展はもとより、日本の成長のために北海道のポテンシャルをどうやって発揮すべきか。そんな挑戦を続ける鈴木知事を支えるため、皆さまにおかれましても、なお一層のご支援をよろしくお願いします。



活力あふれる北海道の未来を実現する会
似鳥 昭雄会長

鈴木直道

2025
AUTUMN

Report
Vol.12

[活力あふれる北海道の未来を実現する会会報]
鈴木直道レポート 12号



ごあいさつ

こんにちは、鈴木直道です。

「鈴木君の命を預けます。この若者を皆さんの手で大きな人材に育てていただきたい」寒風が吹きつける2011年の夕張、選挙応援に駆けつけていただいた石原慎太郎さんの言葉です。夕張市長選の立候補のため、東京都庁を退職したのが29歳。以来、夕張市長として財政破綻への対応、北海道知事としてコロナ対策や北海道のポテンシャルの最大化。こうした課題に取り組むうちに、政治の道を志してから15年の節目を迎えました。

数多くの困難に挑戦できたのも、皆さまからの叱咤激励のおかげです。石原慎太郎さんの言葉通り、道民の皆さまに育てていただきながら今日まで歩んでこられました。

逆境に身を置き、行動を起こし、周囲の人とのつながりを力に変えていく。初心を忘れず、皆さまに支えられてきた15年の月日を励みに、今後も道民の皆さまの命と暮らしを守り抜いてまいります。

政策紹介 赤れんが庁舎がリニューアル 観光客も大にぎわい

北海道庁旧本庁舎(赤れんが庁舎)が、5年余りにわたる大規模改修工事を経て、7月にリニューアルオープンしました。

北海道やアイヌ民族の歴史や文化、北方領土問題に加え、179市町村の特産品などの情報を伝える展示も一新。新たにレストランやカフェなども開設し、来館者数はオープンからわずか1カ月で10万人を超えました。北海道の魅力を発信し、多くの皆さまに楽しんでもいただける空間を目指します。



HPは
こちらから
SNSで随時
情報配信中



政策から
プライベートまで、
オリジナル動画も
公開！



140文字で
いち早く
最新の情報を
お届けします



鈴木知事の
活動をじっくり
読みたい方は
こちらを！



北海道好きな
鈴木知事の
日常を写真と
動画で掲載！

鈴木直道レポート 12号

〒060-0032
札幌市中央区北2条東1丁目2-10
TEL.011-209-7070 FAX.011-209-7080
令和7年11月発行

地域探訪 鈴木直道の 179市町村、おじゃまします！

地域での取り組みについて直接お話を伺う「なのおみちカフェ」などを通じ、鈴木知事は全道各地を訪問しています。

農業、林業、漁業、観光などユニークな特色を活かし、地域の魅力を最大限に発揮されている各地の奮闘を拝見しました。



訪問の詳細はこちら↑

道南エリア

函館市、森町、七飯町、松前町、知内町、長万部町、福島町、八雲町



後志エリア

小樽市、積丹町、古平町、赤井川村、余市町、仁木町



道北エリア

旭川市、音威子府村、剣淵町、中川町、和寒町、幌加内町、美深町



オホーツク・知床エリア

斜里町、羅臼町、滝上町、紋別市、雄武町、興部町、西興部村



道央エリア

札幌市、千歳市、夕張市、当別町、三笠市、月形町、南幌町、由仁町、長沼町



道東エリア

釧路市、釧路町、厚岸町、浜中町、白糠町、広尾町、大樹町、中札内村、幕別町、更別村、根室市



GAATランジスタを形成した試作ウエハー



Japan-USA Golden Age 駐日大使との会談で見た「日米黄金時代」への道



「日米関係の黄金時代は両国、そして北海道の人々と経済に恩恵をもたらす」

9月に北海道を訪問されたジョージ・グラス駐日米国特命全権大使は、ラピダスなどの日米技術連携に言及しながら、北海道と米国との強い結びつきを強調しました。

東アジアにおいて、太平洋や北極海などの海のルートでつなぐと欧米に最も距離が近いのが北海道です。この地理的優位性を活かし、北海道と欧米間の海底通信ケーブルの整備について、これまで鈴木知事は重ねて国に要望。7月には、アジア最大級のデータセンターの建設を進めるソフトバンクが、米国との通信ケーブルの陸揚げ拠点として苫小牧市を選定しました。北海道と米国が接続されるのは初めてです。

北海道は半導体分野での協力に関して、都道府県レベルでは初となる米国ニューヨーク州政府などとの連携協定も締結。日米両政府での経済協力が強化されるなかで、AI分野やデータ通信などにおける北海道の位置づけがますます重要になってきます。



ラピダス、2ナノ半導体試作品を完成！

次世代半導体の開発、生産をめざすラピダス社が7月、国内で初めて2ナノ半導体の試作に成功しました。2ナノメートルは、髪の毛の10万分の1の細さです。消費電力を減らし、性能も大きく向上するという世界最先端の半導体。2023年9月の工場起工から約2年というスピードです。27年の量産開始に向け、今後も取り組みが加速していきます。



イメージ図

